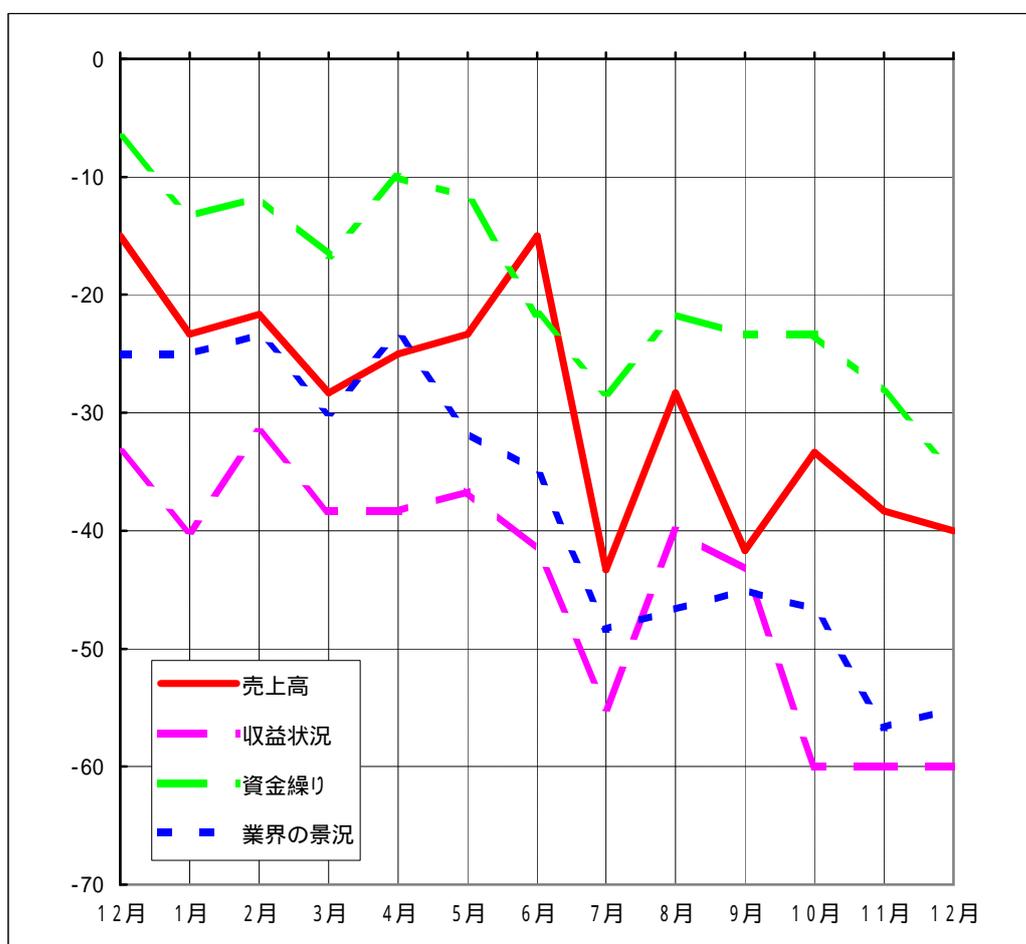


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成18年12月～平成19年12月

単位:ポイント



H18 H19

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高	-15.0	-23.3	-21.7	-28.3	-25.0	-23.3	-15.0	-43.3	-28.3	-41.7	-33.3	-38.3	-40.0
収益状況	-33.3	-40.0	-31.7	-38.3	-38.3	-36.7	-41.7	-55.0	-40.0	-43.3	-60.0	-60.0	-60.0
資金繰り	-6.7	-13.3	-11.7	-16.7	-10.0	-11.7	-21.7	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-28.3	-35.0
業界の景況	-25.0	-25.0	-23.3	-30.0	-23.3	-31.7	-35.0	-48.3	-46.7	-45.0	-46.7	-56.7	-55.0

依然として続いている原油価格高騰等により、12月のDI値も前年同月より全項目で悪化した。「売上高」DIは前年同月より25.0ポイント悪化しマイナス40.0となった。「収益状況」DIにおいては26.7ポイントの悪化でマイナス60.0に、「資金繰り」DIは、28.3ポイントの悪化で、マイナス30%台に推移。「業界の景況」DIは30.0ポイントの悪化で、マイナス55.0となった。ここ3カ月の景況は、「収益状況」が横這い状態で改善の傾向がみられず、「売上高」「資金繰り」は下降傾向を辿っている。

組合の特記事項から、製造業では「木材・木製品」「鉄鋼・金属」「一般機器」の一部で企業間格差はあるものの堅調な受注があるとの報告があった。しかし、他の多くの製造業では、依然として続いている原油価格の高値推移、原材料価格の高騰等により、「売上高」DIがマイナス10%台であるにもかかわらず、「収益状況」DI、「業界の景況」DIともにマイナス50%台と厳しい状況となっている。

非製造業では、製造業同様、原油価格の更なる上昇による燃料費等の高騰や、諸物価の上昇に伴う個人消費の低下などから、上記全項目において製造業より悪化感が強く出ており、新潟県内の景況は先行き不透明で厳しい状況が続いている。